

わたしたちが目指しているもの

- ①私たちは、障害者の個人の尊厳と権利を尊重して福祉の向上に努め、障害者がライフステージと障害の特性に応じて自らの意思（自己意思決定を含む。）により、個々のニーズにあった最適な場で、最適な支援を受け豊かな暮らしができる社会の実現を目指します。
- ②そのため私たちは、知的障害福祉に関する基本的な考えを共有し、お互いに連携して情報のネットワークを作り、会員の抱える課題の整理と改善に寄与します。

このような活動（主な活動）

- ☆年1回は、衆参厚生労働省委員会との意見交換をし、要望書を提出する。
 - ☆全国大会、研修会を通じて、全国の仲間と年1回以上交歓・意見交換をする。
 - ☆全国から寄せられる、問題提起、意見などを理事会で審議し、改善・解決を図る。
 - ☆会員が被った自然災害等について情報収集し、見舞金など支援・援助策を講じる。
 - ☆会員、非会員にかかわらず人権侵害その他、知的障害のある人が被ったあらゆる被害に対し、いち早く対応・調査し声明文などを発表する。
 - ☆様々な情報、トピックスを「全施連ホームページ」、「全施連ニュース」により会員に周知する。
 - ☆その他会員から提案のあったテーマなどへの取り組みをする。
- などを行っています。

現在の加入状況（令和3年7月現在）

全国20道県・500家族会、九州6県・142家族会、鹿施連56家族会+1個人

近年の全国大会 ～ 第15回全国大会 in みやぎ大会 ～

テーマ 「福祉の後退を許さない ～ 真の共生社会 ～」

令和元年10月7日～8日、杜の都 仙台市に320名が集い、全国大会が開催されました。東日本大震災復興報告、行政報告（厚労省職員）、質疑応答スタイルの講演（「地域共生ホーム」の執筆者、埼玉大学准教授宗澤忠雄氏、北九州市立大学教授小賀 久氏、全施連副理事長南守氏）及び「知的障害のある人のこれからの住まいと暮らし」をテーマにした全員参加型の討論会などが開催されました。全員参加型討論会では、「私たち知的障害者支援施設の利用者家族は本（地域共生ホーム）の内容を熟知し、それを武器として、支援施設利用者のより良い暮らしが実現できるよう、国・自治体等に対して我が子や兄弟姉妹の要望をしっかりと届けましょう」と結ばれた。

令和2年度は、熊本市内において開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、参加者の健康と安全を守るため「中止」となりました。令和3年度も同理由により中止です。

編集後記

会報「かごつま家族ねっと」は、年2回の発行で、半年分の鹿施連の活動の紹介になり、大会とか研修会の様子紹介等で旧聞に属することも掲載せざるを得なかったことをご了承ください。

また、全施連のホームページ (<http://zennsiren.web.fc2.com/>) には、全国規模の活動や各県の活動の様子が紹介されておりますのでご覧ください。

令和3年度の会報「かごつま家族ねっと」は、8月と2月の発行予定です。

会報等に関するご意見・ご要望、各地区支部の活動、各家族（保護者）会の行事、諸活動の様子など（写真付き）は大歓迎です。遠慮なく事務局までお寄せください。お待ちしております。

なお、事務局のメールアドレスは「u07eaue9ad@hi3.enjoy.ne.jp」です。

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会 会報

かごつま家族ねっと

第18号

発行月 令和3年8月
発行人
鹿児島県知的障害者施設家族会連合会
事務局 〒890-0032
鹿児島市西陵7丁目30番3号
川畑岩夫 宅
TEL・FAX 099-281-9548

令和3年度 鹿施連評議員会（総会）について ～ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面総会 ～

令和3年度鹿児島県知的障害者施設家族会連合会（通称「鹿施連」）評議員会（総会）は、6月18日開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、理事会等で協議し、会場のハートピアかごしまの入場制限もあり、書面決議による総会としました。

評議員会（総会）の各議事事項は、次のとおり

- 第1号議案 令和2年度事業報告について
- 第2号議案 令和2年度収支決算・監査報告について
- 第3号議案 令和3年度事業計画（案）について
- 第4号議案 令和3年度収支予算（案）について
- 第5号議案 役員を選出・承認について
- 第6号議案 各地地区支部活動報告について



であり、評議員の57施設の家族会長に評議会（総会）資料等を送付し、議決権行使書の提出をお願いしました。その結果、57家族会うち45家族会長より各議題に賛成との回答を得ました。残りの家族会長からは回答は未提出でした。評議会（総会）は、会則第14条第2項に基づき成立しましたのでお知らせします。会員の皆様方のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、引き続きよろしくごお願い申し上げます。

～ 鹿施連 中村俊久会長あいさつ ～

盛夏の候 会員の皆様にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

一昨年末ころから『新型コロナウイルス』の感染拡大により、生活面においても外出自粛や営業自粛で誰もが想像できなかった事態が続いています。

令和3年度の鹿施連評議員会（総会）は、昨年に続き書面評決とさせていただきました。その結果、いずれの議案も可決承認していただきました。ありがとうございました。

一方、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、コロナワクチン接種が高齢者、障害者、障害者施設で働く職員等は、優先的にということで、既に我々の子どもや兄弟・姉妹及び施設職員への接種が始まっています。

鹿施連としては、全国知的障害者施設家族会連合会（通称「全施連」）と連携を取り、国、鹿児島県への『緊急要望書』を提出し、鹿児島県知的障害者福祉協会（水流純大会長）へも早期対応をお願いしていました。

2020東京オリンピックも終わり、パラリンピックが始まります。オリンピックと同様に、観

客の入場制限及び無観客での開催など、いろいろな対策は取られているようですが、首都圏内では、人の往来も多く、新型コロナウイルス感染拡大が続き、緊急事態宣言が発令中です。

鹿児島県内においても日々感染拡大の報道に接しており、また、福祉施設等でクラスターが発生していますので十分な注意をお願いします。

お盆を迎え、人の往来も多くなって来ます。是非、家族間において、感染防止対策を取っていただき、利用者や施設職員及び家族等への感染が拡大しないようにお願いします。

意思表示のできない利用者への感染拡大が一番懸念されるところであります。是非、会員の皆様方も早めのコロナワクチン接種をお願いいたします。

コロナワクチン接種後は、我々家族会としても会員同士の意見交換等ができるのではないかと考えています。それまでの間、しばらくは、新型コロナウイルスとともに生活をしていかざるを得ません。この最大の試練を一人ひとりが真剣に受け止め、責任ある行動により、感染拡大防止をしていくことが大切と思われまます。早く終息して以前の生活に戻れるよう願っています。

まだまだ、酷暑の日々が続きます。皆様方の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます。

～ 令和3年度の事業計画 ～

今年度の事業計画として

- ① 組織の点検と強化
- ② 研修活動の推進
- ③ 啓発活動の推進
- ④ 全施連、九州協議会との連携の強化
- ⑤ 行政機関への働きかけ等
- ⑥ 関連団体との連携の推進

などを具体的な取り組みとしました。

特に、①組織の点検と強化と②研修活動の推進については、活動を強化してまいります。

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会 理事(R3～R4年度)

支部名	役職名	氏名	施設名	支部名	役職名	氏名	施設名
鹿児島市	支部長	中村 俊久	しょうぶ学園	北薩摩	副支部長	松元 由香里	川内なずな園
鹿児島市	副支部長	前田 隆幸	セルプいしき	大隅	支部長	町元 茂	トゥモローかのや
鹿児島市	副支部長	兼廣 倫生	あおいとり	大隅	副支部長	福田 琴美	トゥモローかのや
南薩摩	支部長	濱田 正幸	白藤学園	奄美・種屋	支部長	上妻 正博	たちばな園
南薩摩	副支部長	垂口 政治	ハイビスカス福祉会	奄美・種屋	副支部長	石崎 一	希望の星学園
北薩摩	支部長	宮司 礼子	川内なずな園				

※令和3年度は、次の地区支部で理事の交代がありました。

○奄美・種子屋久地区支部において、橋田隆治副支部長が退任し、後任に石崎 一 副支部長(希望の星学園・星の子会)が就任されました。(各地区支部において任期が異なります。)

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会 二役会選任理事

支部名	役職名	氏名	施設名	支部名	役職名	氏名	施設名
鹿児島市	理事	岡元 鐵哉	サポートなごみ	鹿児島市	理事	十島 真理	吾子の里

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会 役員(R3～R4年度)

役職名	氏名	施設名	支部名	役職名	氏名	施設名	支部名
会長	中村 俊久	しょうぶ学園	鹿児島市	監事	米元 憲治	ディライト明星	鹿児島市
副会長	町元 茂	トゥモローかのや	大隅地区	監事	内田 信義	吉田愛青園	鹿児島市
副会長	前田 隆幸	セルプいしき	鹿児島市	事務局長	川畑 岩夫	あさひが丘学園	鹿児島市
会計	内村 浩子	セルプ鹿児島	鹿児島市	(会計、事務局長は、会長からの選任、委嘱となります。)			

全国知的障害者施設家族会連合会(通称「全施連」)について

これまで機会ある毎に『全施連』については、理事会、総会及び各道府県持ち回りでの全国大会の開催状況等々をお知らせしてきました。近年、利用者及び家族の高齢化等により退会する家族会もあるようです。鹿施連においても同じ理由等により退会したいとの申し出がありました。

一方、施設の運営等により施設を2つに分けて新しく建設し、家族会も2つに分かれ、新規に加入するという事もありました。

よって、令和3年度の鹿施連第2回理事会において、令和3年度の事業計画①組織の強化と点検について、協議し、この現象をなくすためにも今一度、「全施連及び鹿施連の活動状況等を会員に知らせるべきではないか。また、未加入の家族会へ声かけして勧誘し、組織の強化を図ることではないか。会報『かごつま家族ねっと』に掲載し、広報すべきである。」とのことでした。

一緒に考えてみませんか?
知的障害のある子や兄弟姉妹の幸せな暮らしを

知的障害のある人たちと
その家族のしあわせのために